

信用格付を付与するために用いる方法の概要（事業会社）

フィッチ・レーティングス（フィッチ）の事業会社格付は、債券発行体と個々の債券の事業リスクと財務リスクを含む定性および定量要因を反映したものである。

（重要な格付要素）

- 業種リスク
- 財務特性（キャッシュ・フローと収益、資本構成、財務の柔軟性）
- 事業環境
- 企業特性
- 経営戦略／コーポレート・ガバナンス
- グループ構成

フィッチの分析には、通常、少なくとも3年間の事業実績・財務データと、フィッチによる将来の業績予想が用いられる。これらは、比較分析に用いられ、フィッチでは、発行体の事業および財務に関するリスク特性上の強みを、同業他社や同等格付カテゴリーの企業のものと比較して評価する。この比較分析には、格付に影響を与える発行体の事業環境や財務戦略が変化する可能性についての考察が、適宜織り込まれる。個別および全体としての定性および定量要因の間のウェイト配分は、その時々に応じて変化する。一般的な指針として、1つのカテゴリーが他のカテゴリーに比べて著しく弱い場合、分析では最も弱い要素に比較的大きなウェイトが割り当てられる傾向にある。

個々の債券の格付（通常は無担保優先債務格付）には、債務不履行時の支払の優先順位と回収の可能性に関する追加的な情報も織り込まれている。個々の負債証券の格付は、証券の支払の優先順位、担保額、資本構造のその他の側面に応じて、発行体デフォルト格付（IDR）より上位、下位または同水準となり得る。

本格付方法の詳細については、「Corporate Rating Methodology」（2011年8月12日付格付基準レポート）をご覧ください。